レッスンガイド

プレビューを読み取り、配置問題を解決する

範囲外のオブジェクトを修正し、予定した出力から表示されているガイドを除外します。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

ソフトウェア操作

機械なしを選択したまま、未接続の状態を維持します。これらのファイルには、ソフトウェアのプレビュー用に操作例の値が残っています。素材でテストした設定ではありません。コースのマシンプロファイルへのリンクは、受講者用コピーから削除されています。

範囲エラー	Xを修正	ガイドの出力
オブジェクトを確認	寸法を維持	オフ、表示はオンのまま

配置と含めるかどうかは別々に確認します。表示されているガイドをジョブから除外できます。

1. **preview-start.lzrproj**を開いてプレビューをクリックします。実際のメッセージを読みます。プレートがワークスペースの右端から**4 mm**はみ出しています。

2. Beam BenchがPlateを選択します。デザイン画面で、左下のプロパティ表示を参照し、**X 92を52に変更**します。W 12 / H 16は維持します。

3. 選択を解除し、走行表示をオフにしてプレビューします。大きなGuideの長方形は不要な輪郭です。メイン出力がオンになっているためです。

4. プレビューを閉じます。レイヤーでGuideを選択し、**表示の横にあるメイン出力**をオフにします。表示はオンのままにし、小さい方の操作用出力は維持します。

5. もう一度プレビューします。残るのはPlateと開口部だけです。先頭に戻り、次のセグメントを使って予定されたパスを確認します。

6. 走行表示をオンにして、レーザーオフの移動と焼き付けパスを区別します。所要時間は推定値です。別名で保存し、**preview-finished.lzrproj**と比較します。

個別練習

個別練習

preview-practice.lzrprojを開きます。範囲エラーを読み、Plateを**X 94から54に移動**します。Guideは表示したまま、メイン出力をオフにします。

□ PlateのW 10 / H 18、Y、16 mmの開口部を維持します。練習用ガイドは楕円です。

□ プレビューを確認し、別名でコピーを保存して、preview-practice-answer.lzrprojと比較します。

Plateはなぜ最初、ワークスペースの外にあるのですか。

どのGuideのコントロールで、キャンバス上の表示を残したままパスを除外できますか。

ソフトウェアのプレビューがきれいなら、焦点または素材のクリアランスが確保されたことになりますか。

比較の意味を保つ
提供された初期ファイルを維持します。回答を開く前に、自分の結果を別ファイルとして保存します。

解説付きの回答とファイル

解説付きの回答とファイル

練習での修正
PlateはX 94、幅10で始まり、100 mmのワークスペースから4 mmはみ出しています。X 54にすると内側に収まります。

出力からの除外
Guideは表示したままで、メイン出力はオフです。プレビューに含まれるのはPlateと開口部で、ガイドは含まれません。

プレビューの限界
プランで確認できるのはソフトウェア上のパスです。物理的な基準、素材の配置、素材の反応、焦点は確認できません。

preview-finished.lzrproj
保存されたデモ用セットアップであり、物理的な完成結果ではありません。

preview-practice-answer.lzrproj
試行後に、保存された項目とアートワークを比較します。

preview-practice.lzrproj
このレッスン用の個別練習の初期ファイルです。

preview-start.lzrproj
実演されたセットアップに従います。

表示だけを変更するとキャンバス表示に影響します。含める対象または位置を変更するたびに、予定された出力を確認します。

該当する場合、実演されたBeam Bench 0.2.37のコントロールと、修正済みの終了状態に一致します。後のパネルレイアウトは異なる場合があります。